

第2学年 国語科学習指導案

指導者 1組 加治屋 良子

3組 中山 裕美

1. 日時 平成29年6月7日(水) 第5校時
2. 単元名 ていねいに かんさつして きろくしよう
教材名「かんさつ名人になろう」光村図書2年
3. 単元構想

〈子どもの実態〉

- ききみみに取り組んだことで、話の内容をよく聞くようになった。また、自分の思いをもちながら話を聞き、自分の考えを少しずつ書くことができる児童が増えてきた。
- 「書きたい」気持ちはあるが、何をどのようにして書けばよいのか分からず、時間がかかる子がいる。話し言葉では説明できるのだが、書き言葉で、相手に伝わるように表現する力はまだ弱い。しかしながら、自分の書いた文章を読まれるととても嬉しそうにしている。

〈教師の願い〉

- 分かりやすく書くためには、多様な見方をして必要な情報を集めることが大切であることを理解してほしい。
- 発見したことがらを生かして分かりやすく文章で伝える方法や気をつけることがらを理解してほしい。
- 多様な場面で「書きたい」という思いが生まれ、進んで書くことを楽しむとともに、友達が書いた文章を読み味わう楽しさを知ってほしい。

〈身に付けたい資質や能力〉

- 観察記録文を書くために必要な材料を多様な見方をして集めること。
- 書くために集めた材料を整理して、観察したことを記録する文章を書くこと。

〈教材の特徴〉

身近なものをよく観察する力と、観察したことを情報として集め、文章に書く力をつけることができる教材である。観察する対象を児童一人一人が持っている生活科で育てている野菜とすることで、じっくりと観察することができる。また、対象をじっと見つめることによって、気づく自分なりの発見を大切に、観察することもできる。観察して気づいたことや思ったことを書き続け、記録を蓄積するという喜びを体験することができる。

〈主たる言語活動〉

- 観察したことを記録する文章を「ぐんぐん日記」に書き表す。

4. 単元目標

○自分が育てているトマトの生長の様子をていねいに観察し、感じたことや気づいたことを書いたメモを生かして観察したことを記録した文章を書くことができる。

5. 評価規準

関心・意欲・態度	書く能力	言語に対する知識・理解・技能
・観察したことやその時に感じたことを記録することの良さを知り、正確に記録しようとしている。	・観察して分かったことや感じたことなどを、その場で短い文やメモを書いている。(ア) ・観察したことやその時に思ったことが分かりやすく書けているかを確認するために、書いた文章を読み返している。(エ)	・主語と述語を意識して文を書いている。(イ (カ))

6. 一人一人が楽しく取り組む国語学習に向けて

(1) 魅力ある単元づくり

じゅんじょに気をつけて読もう
「たんぼぼのちえ」(読む)
・時間の順序や理由を表す言葉に着目し説明的な文章を読む。

日常的な活動

「伝え合う力」

・スピーチ活動・ききみみ

「語彙の獲得」

・ことばあそび

etc.

本単元 「ていねいに かんさつして きろくしよう」
～かんさつ名人になろう～《書くこと》
・対象の様子を丁寧に観察し、気づいたことや分かったことを工夫して書く。

生活科

「めざせ野菜作り名人」

・野菜を育てる活動

・収穫祭

・感謝の会

互恵



後で読んでわかるように、くわしくなる言葉を使ったり書き方に気をつけたりして書こう。そして、友だちにも見せてあげよう。

ぼくの野菜だから、大事に育てよう。そして、しっかり観察して記録しよう。



生活科「めざせ野菜作り名人」では、一人に一苗を与えて栽培させることで野菜への愛着を強くもたせるようにした。児童は、自分が育てている野菜なので「速く大きくなってほしい」「おいしい実をつけてほしい」という願いを強くもって世話をする。したがって、野菜の生長や形状の変化には敏感になるであろうということを想定し、国語科の本単元を重ねて学習することにした。

また、観察の視点や、観察したメモの活用、さらには記録文の文体などを国語科の本単元のねらいにおくことで、生活科で扱う観察記録をよりくわしく分かりやすいものにできると考えた。野菜収穫まで

はまだ数日かかるので、単元終了後も「ぐんぐん日記」を生活科の中で継続して書かせていきたい。

(2) 主体的・対話的で深い学びへのアプローチ

①教師のモデルを示しことで、学習への見通しをもたせる、

教師が書いた記録文を見せ、それを書いたことによってどんな良さがあったかを聞かせることで、学習の見通しをもてるようにする。また、野菜名人の方の話なども紹介し、いつもていねいに観察することで野菜が元気に育つことを心に残すようにした。

②意図的に五感を使って観察できるようにカードを工夫する。

「くわしく」「ていねいに」と指示しても、具体的にどのようにしたらよいかを分からない段階の子どももいる。また、友達のカードと見比べたときに、どんな観察の仕方がよいのかをはっきりとわかるようにもさせたいと考えた。そこで、五感を使っての観察を印象付けられるようにカードを工夫したりシールを活用したりするようにし、観察や記録が楽しい活動になるようにした。

③見合い、話し合う中で、友達の良さを発見させる。

同じ箇所を観察しても、記録する中身が違っていたり表現の仕方が違っていたりする。次に読んだときにどうしたら分かりやすいかという観点で友達のものを見比べ、話し合う活動を意図的に行った。そうすることで、自分には気がつかなかったことに気付いたり、もっと詳しく表現する方法に気付いたりできると考えた。

④ワークシートの工夫

観察したことをメモに書くことはできても、それを文章にすることができない子のために、観察メモから記録文に起こしやすくなるようなワークシートを工夫した。(別紙)

(3) 日常活動の生かし方

①スピーチ活動

感想や質問の時間を意図的に様々な場面に用意することで、言葉のやりとりが活発になってきている。友達が話すことに感想をもつようになったことや、自分の言葉で一生懸命に命伝えようとする姿が見られるようになったことを本単元で生かしていきたい。

②ききみみ

朝会での話を聞いて、題名をつけたり、感想を書いたりしている。心に残ったことや自分が感じたことを文で表すことができるようになってきている。観察した事実に加えて、感じたことや思ったことを書いたり、友達のカードに感想を言えたりする姿を期待したい。

③言葉遊び

言葉のよさを知るために、日常的に言葉遊びなどを行っている。まずは、自力で探し、次にペアで増やし、さらにグループで増やしていく。「〇ん〇ん」「〇まった」など普段は気にしていなかった言葉があてはまることに楽しみながら、取り組んでいた。自分だけで探していたことだと見つからないことが、友達と相談すると増えるという経験を生かして対話的な学習を進めてほしい。

7. 指導計画（7時間扱い）

次	時	評価規準☆評価方法	学習活動	指導上の留意点
一	1		<p>とってもしろい「ぐんぐん日記」の書き方をしろ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分が育てている野菜の様子を報告し合う。 ○教師の作成した「ぐんぐん日記」を見て、記録文を書くこと良さを考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・生長の様子を忘れない。 ・次に育てるときに役立つ。 ・来年の2年生が育てやすい。 ○「ぐんぐん日記」を書くための手順を考えよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ていねいに観察する。 ・観察したことをメモする。 ・メモをもとに書く。 ・後で誰が読んでも分かりやすいかを意識して読み返す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自由に生長の様子を話させ意欲をもたせる。 ・日記を書いた理由や、書いて良かったことを伝え、学習への意欲を高める。 ・単元全体の見通しと書くことへの意欲が高まるように工夫する。 ・
生活科			<ul style="list-style-type: none"> ○畑に行き、「ぐんぐん日記」を書くための観察メモを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あえて、観察の観点にはふれず、自由に観察メモを書かせる。
二	② 3 組 本 時		<p>「ぐんぐん日記」を書こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観察メモを発表し合う。 ○くもしろく書くためにはどんなことが必要かを考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・五感を使うこと ・比べて見ること ・方向を変えてみること ・数や、大きさを示す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表した項目を五感別、あるいは表現の工夫に整理する。（あらかじめ、書いたメモを読んでおき、おおまかな整理イメージはもっておくようにする） ・友達の着眼点の良さにきづくようにさせる。 ・「目・鼻・手」などのイラストシールを使い、自分のメモを確認させる。

	3	<ul style="list-style-type: none"> ・観察したことの中から発見したことや印象に残ったことを見つけている。【書ア】 ☆観察メモ 	<ul style="list-style-type: none"> ・何かに例えて書く。 ○自分の育てている野菜をもう一度くわしく観察してメモを書く。 ○観察メモにどんなことを書いたか、発表し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・前に書いたカードと比べる。 ・友達と見せ合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に確認した観点を意識できるようなカードを用意する。 ・児童のワークシートに貼れる「目・鼻・手」シールを用意する。 ・様子（・大きさ・形・色・数・さわると・においなど）
	4	<ul style="list-style-type: none"> ・主語と述語を照応させて文を書いている。 【言イ（カ）】 ☆「ぐんぐん日記」 ・観察したことやその時に思ったことが分かりやすく書けているかを確認するために書いた文章を読み返している。 【書エ】 ☆「ぐんぐん日記」 	<ul style="list-style-type: none"> ○モデルの観察カードと観察メモを見比べる。 ○観察メモをもとに「ぐんぐん日記」を完成させる。 ○書いた「ぐんぐん日記」を読み返し間違いを正す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主語や述語があることなど文体の違いを意識させる。また、メモにくわしくなる表現を付け加えていることなどに気付かせる。 ・書いたものを読み返し、書き間違いや句読点を見直させるとともに、後で誰が読んでも分かりやすいかを意識させる。
三 生 活 科			<ul style="list-style-type: none"> ○畑に行き、「ぐんぐん日記」を書くための観察メモを書く。 	
	5 ⑥ 本 時 1 組 7	<ul style="list-style-type: none"> ・観察したことやその時に感じたことを記録することの良さを知り、正確に記録しようとしている。 【関】 ☆「ぐんぐん日記」 	<ul style="list-style-type: none"> ○メモをもとに「ぐんぐん日記」を書く。 ○書いた「ぐんぐん日記」を読み返し間違いを正す。 ○書いた「ぐんぐん日記」をグループで読み合い、感想交流をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・よく見ているところ。 ・分かりやすい表現など ○学習の振り返りをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・じょうずになったことや、分かったこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までの学習をもとに、自力で「ぐんぐん日記」を書き上げる。 ・観点を意識しながら、読み合うことを声かけする。 ・見合った後には付箋にコメントを書き、友達の観察カードに貼るようにする。（いいねシール） ・良さにたくさん気付くように声かけをする。 ・野菜名人の話を伝え、今後の観察にも意欲がわくようにする。

8. 本時の指導 2年3組 <2/7>

(1) 目標 観察メモを発表し合い、くわしく書くために必要な観点(コツ)を知る。

学習活動	指導上の留意点○と評価【 】
1. 学習課題を把握する。	
くわしく書くためのコツを見つけよう。	
<p>2. どうやったらくわしくメモをとることができるか考える。</p> <p>(1) 自分がメモしたことを発表する。</p> <p>(2) どんな観点で観察すればよいか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題名が書いてあるよ。 ・親指ぐらいって書いてあるから、大きさがわかるよ。 ・細くのびましたから、太さが分かるよ。 ・前と比べてって書いてあるから、どれくらい変わったかが分かりやすいよ。 ・～のようだっていうのは、分かりやすい言い方だと思う。 ・目で見ていることが多いね。 <p>3. ふりかえりをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・～のようにと書くとわかりやすい。 ・題名を書くと、何について観察したか書きやすい。 ・次は、くわしく観察したいな。 	<p>○事前に観察したメモを用意する。</p> <p>○何の観点で観察したのか整理するために、シールを貼る。(手、耳、鼻、目など)</p> <p>○観察メモに担任からのコメントを入れておくことで、自信をもたせる。</p> <p>・観点ごとにまとめて板書する。</p> <p>○目、耳、鼻などの絵カードを用意し、視覚的に理解できるようにする。</p> <p>・今までは、どんなことを意識しながら観察していたのか気づかせる。</p> <p>・どの観点到に着目したら、もっとくわしく観察できるのか考えさせる。</p> <p>【書】 観点を整理し、発見したことや印象に残ったことを見つけている。</p> <p>☆発言、ワークシート</p> <p>・記録文を書く観点をまとめる。</p> <p>・これらを生かして観察記録文を書くことを意識させる。</p>

授業の視点

・目、耳、鼻などのイラストシールを使うことで、どんな視点で観察しているか気づくことができたか。

(1) 目標

読み返して、観察することを通して、成長したことに気づき、また観察して書こうとしている。

学習活動	指導上の留意点○と評価【 】
生活科 ○畑に行き、「ぐんぐん日記」を書くための観察メモを書く。	○前回書いた「ぐんぐん日記」を読み返して、今日観察するところを決められるようにする。
私の「ぐんぐん日記」を書こう。	
1. 観察して見つけたことをメモぐんぐん日記に書く。 ・葉っぱが前よりも大きくなっている。 ・花のしぼんだところから、実みたいなのができています。 ・大きな穴があいている。虫がいるのかな。 2. 書いた「ぐんぐん日記」を読み返し、間違いを正す。 ・「は」が「わ」になっている。 ・「、」と「。」をつけ忘れていた。 3. 書いた「ぐんぐん日記」を二人組または、グループで読み合い、感想交流をする。 ・よく見ているところがわかったよ。 ・「こうなのかな？」想像して考えることができたよ。 ・気持ちが伝わってきたよ。 ・表現がわかりやすかった。 ・書き方で様子がよくわかったよ。 4. 学習のまとめをする。	○前時に学習した、主語や述語があることを思い出させ、メモから文章にかえられない子には、「○○は、～です。」という文に変えられると伝える。 ○書いたものを読み返し、書き間違いや句読点を見直させる。 ○見合った後には付箋にコメントを書き、友達の観察カードに貼るようにする。 (いいねシール) ・良さにたくさん気付くように声かけをする。 【関】観察したことやその時に感じたことを記録することの良さを知り、正確に記録しようとしている。 ☆「ぐんぐん日記」

授業の視点

記録することの良さを知り、正確に記録しようとしていたか。